

広島グリーンアリーナの有効利用に係る運用方針（案）に対する 県民意見募集の結果について

1 意見の件数

77 件（57 人）

提出方法：電子申請 57 人、電子メール 0 人、郵送 0 人、ファックス 0 人

2 意見の内容及び意見に対する県の考え方等

※ いただいた意見は、整理のため、一部分割しておりますが、不適切な内容や表現などを除き、編集せずに記載しています。

（１）コンサート等有料興行関係

ア コンサートの開催について

	意見の内容	県の考え方・対応方針
コンサートの開催希望	○もっと、アーティストが来れるような環境を作ってほしい。広島でもっとライブがみたい。 ○広島グリーンアリーナでのアーティストのライブを熱望しておりますが、これまで利用に関する規約で開催ができなく、大都市圏の中で広島だけが会場が抑えられず、広島飛ばしという言葉まで生まれ、他県では開催されているアリーナライブも地元広島で見られない悲しみに打ちひしがれています。どうか広島グリーンアリーナでのライブ開催の開催数など県の条例をもう少し緩く、グリーンアリーナでのライブ開催を希望されているアーティストが会場を抑えやすい環境にしていだけますと幸いです。 ○知名度あるアーティストのライブ会場にちょうど良いキャパシティのため、もっとライブ会場として活用していただきたいです。 ○色々なジャンルのライブをもっと開催してほしい。 ○もっと色々なアーティストのコンサートをさせて欲しいです。毎回広島だけ飛ばされて悲しいですしせっかくグリーンアリーナがあるのに使わないのは勿体ないと思います。グリーンアリーナで色々なアーティストのコンサートをすればもっと観光客等が増えると思います。 ○昨日一昨日のライブでグリーンアリーナに行ってきました。平日にもかかわらず他県からの人も多かったです。Xで多く見られた書き込みは「キャパが丁度よくどの席からも見えやすい」「音も反響せず良かった」です。平日のライブ等の制限を緩和とすることでですがグリアリは評判がいいのもっとライブを受け	広島県立総合体育館は、大規模スポーツ大会の開催や国際交流の促進、県民スポーツ活動の拠点とすることを目的に設置した施設です。 一方で、大アリーナである広島グリーンアリーナは、最大収容人数が約 1 万人の中四国地方最大規模のアリーナ施設を生かした地域の賑わいの拠点としての機能をもつことについても踏まえる必要があると考えております。 意見交換会においては、 ・賑わい創出などのために、コンサートをもっと実施した方がよい ・広島にはコンサートの需要が多くあるとの意見もいただいているところです。 そのため、<u>今回の運用方針（案）では、コンサート等有料興行制限は、原則、10%（開館日数に占める広島グリーンアリーナの有料興行日数の割合）を維持することとしますが、平日の利用状況を踏まえ、平日は、制限日数に含めないこととするものです。</u> <u>また、土日については、スポーツ大会等とのバランスを考慮しつつ、新設する利用調整会議において、柔軟な運用について検討する予定です。</u> なお、平日を制限に含めないことにより、月曜日から金曜日の祝日にコンサートを開催しやすくなる効果もあると考えております。

	入れて欲しい。使わないのはもったいない。他県から来広してもらえれば観光業もにぎわいます。 ○スポーツに対する配慮だけでなく、若い世代が広島でコンサートをしてほしいという希望を持っています。大阪や福岡へ行く場合新幹線やその他交通費、宿泊、食費がかかってしまう。広島で開催されれば、新幹線代はかからない。時間によっては宿泊代もかからない。また、広島でコンサートが開催されれば、地域経済にもお金が流れてくる。聞く所によると、宿泊、食費、交通費、おみあげ代などで何億円という金額が流れてくるそうです。広島グリーンアリーナで、できるだけ多くのコンサートをしてもらいたいです。 ○コンサート開催を増やして欲しい。 コンサート開催に伴う経済効果は計り知れません。また、コンサート開催で広島を飛ばされて悲しく広島県民として悔しいです。遠征費を払うぐらいなら広島に、お金を落としたいです。 ○ライブ開催を増やして欲しい。広島飛ばしは広島県民として悲しいです。 ○生活環境上子どもと関わる人が多いのですが、将来県外に出たいと考える者のうち動機が、「広島は好きだが、好きなアーティストは広島での興行がない（広島飛ばしを受ける）から。」という者が散見されます。金銭的にまだ不自由の多い大学時代を県外のイベント、ライブが多い土地で過ごすことで、いわゆる「遠征費」を下げたいという狙いがあるそうです。将来広島で活躍してくれるはずの子どもたちが、そのような理由で県外へ出て、そのまま戻ってこないことは広島の成長において大きな機会損失になっているのではないかと感じています。 ○特にアーティストによる音楽ライブについて、もっと回数を増やしてほしいです。いつも福岡か大阪へ行かねばならず、遠征代がかかります。広島でライブがあるのなら観光がてら来てくれる人も増えると思います。せっかくアリーナがあるならもっとライブの回数を増やした方が経済も回ると思います。	
--	--	--

経済効果	○利用料金設定を高くしてでもアーティストが利用しやすくすれば、利用料収入も増えるし、市内の経済も活性化したいと思います。 ○ライブやコンサートは地域活性に繋がりがやすく、かく言う自分もイベントの為にいった場所が気に入るイベントが無くてももう一度行くということがあるので、人を県外から呼ぶと言う面でもライブの枠を増やしてもいいのでは？と思っています。 ○広島にはドームがないからアリーナを利用する。そのアリーナの制限が厳しいと広島にアーティストは来ない。福岡か大阪に人が流れる。コンサートを開催させるだけで広島の経済は回ると思う。 ○広島グリーンアリーナは広島県内で唯一の1万人規模のライブ・コンサートが可能な開場です。そして全国ツアーを行う有名アーティストも広島での公演の開催需要はあるが、広島グリーンアリーナが10%規制のため会場が無く広島公演を断念しているという話を見かけます。その為にも、広島グリーンアリーナは、有料興行で優先的に利用し、有料興行の利用がなければ、一般市民のスポーツ大会等の利用にあてるようにした方が、広島県民にとって一番いい形です。広島グリーンアリーナで毎週末、1万規模のコンサートが開催されるの、広島県外から多くの来場者が広島には来られ、コンサートと合わせて宮島や呉、尾道など有名観光地に行かれる事が多く、広島グリーンアリーナを一般市民のスポーツ大会等の貸し出しで利用するよりも、絶大な経済効果を生み出しています。数年後、広島市内に広島グリーンアリーナと同規模の新アリーナが完成するまでの限定でも良いので、早急に広島グリーンアリーナでの有料興行制限を撤廃して、たくさんの広島県民が喜ぶ制度にしてほしいことを切に願っております。 ○主に観光客に対する小売業に従事しております。その立場からいうと、やはり県外の人々が来広するきっかけになるライブなどのイベントは比率をあげて欲しい。売上が全然違ってきます。 ○規制緩和をしてライブやコンサートの積極的誘致をすべきである。好立地に加えて中心部にも徒歩圏内のため、経済効果も絶大だと考えられる。経済活性化および税収増加により市民、県民へ還元する行政支援（特に子育て、教育）をさらに手厚くし、人材の定着、地域活性化を図り、定住者はもちろん県外来	広島県立総合体育館の広島グリーンアリーナについては、中四国地方最大規模のアリーナ施設であり、大会誘致によるスポーツ推進と地域の賑わいの拠点として、機能していることを踏まえる必要があると考えております。 意見交換会においても、コンサート等有料興行があったときの商店街の盛り上がり、経済効果は大きく、また街中のサッカースタジアムでプロサッカーの試合がある時は、試合前後に多くの人が街を回遊し、街が活性化している等の意見をいただいたところです。 第3期広島県スポーツ推進計画においても、スポーツ施設を活用して、地域に人を呼び込むという視点が必要であると位置づけており、県立総合体育館においては、<u>引き続き大会誘致によるスポーツ推進と地域の賑わいの拠点として機能維持・充実を重点的に図ってまいります。</u>
-------------	--	---

訪者の増加という好循環を期待したい。 ○平日土日問わず、グリーンアリーナでのライブ開催の強化に賛成です！西野カナ、SnowMan が好きでライブに何度か行っています。広島開催はほぼないので普段は福岡や大阪の公演に申し込みます。過去に一度西野カナのグリーンアリーナ開催ライブは参加しました。行き帰りゆっくりできたし親も呼べました。ライブの前後は食事や買い物、観光、宿泊をするので、広島でもそれがあると、市内も今より賑わうと思います。ミナモアができ広島駅は盛り上がっていますが、街中から移転したお店も多く今度は街中が寂しくなるのではと感じていました。(いろいろ計画はしていच्छやるかと思いますが) グリーンアリーナでのライブ開催で、ミナモアを玄関口に、街中にも県外の方も寄ってもらえると思います。様々なアーティストさんのライブができれば、広島観光に来るのが1度きりにもならないと思います。また、周りでも県外へ出て行く友達がちらほらいました。転出理由は広島飛ばしと直接関係ないですが、毎日の疲れを吹き飛ばす場所が近くにあると、(個人の感覚ではありますが、) 若者の転出数にも多少でも影響があるのかなと思います。ショッピングモール以外にも遊ぶ場所がほしいです。 ○コンサート等イベントでの利用機会をもっと増やしてほしいです。ミナモアがオープンし、広島駅2階に路面電車が乗り入れされるようになったことで、広島駅周辺が賑やかになったと感じています。広島市中心部も活気づけるために、グリーンアリーナをコンサート等イベントでもっと活用し、利用が増える環境づくりをしていただきたいです。グリーンアリーナは付近にバスセンターがあり、アストラムラインや路面電車も付近を通っているため広島内外関係なく交通の便が良いと思います。近隣の商業施設等(そごう、アクア、パセーラ、リーガロイヤルホテル、広島ゲートパークなど)と提携して、より活気づく取り組みも必要になるのではないのでしょうか。大好きな広島の街がもっと盛り上がるよう、前向きな検討をお願いいたします。 ○グリーンアリーナでは是非、もっとライブやコンサートを沢山行っていただきたいです。私は K-POP アイドル SEVENTEEN のファンでツアーには10公演あれば8公演は行ったりします。その際、例えば福岡3公演なら4泊5日・名古屋2公演なら3泊4日などと長期滞在を行います。その際もちろん宿泊代、飲食	
--	--

代などがかっており経済効果は凄まじいだろうと考えております。事実私も1都市につき、宿泊交通費など含み最低でも10万円は毎回使用しています。SEVENTEENはシティコラボというものを毎ツアー行っており、その都市のポイントになる場所にQRコードを設置してスタンプラリーを行っています。(一定数スタンプを集めると限定の特典が貰えます)そのQRコード設置場所は場所によってはお店などを利用しないとQRコードがゲットできないのでもちろん利用します。また、それに付随して名物のお店(名古屋なら矢場とん)などでは限定メニューを食べると限定グッズが貰えたりしてツアーの際のそのお店は基本SEVENTEENファンでいっぱいです。限定メニューは普段よりもだいぶ料金が値上がりされている事もあるのにせつかく来たから食べようと思えますし、他のファンも同様です。 あの様子を見るとこれだけの経済効果が生まれるのに広島ではライブが行われないから、チャンスさえもなくて本当に勿体ない…といつも感じます。例に出したSEVENTEENは今1番人気と言っても過言ではないグループなのでドームがないため難しいですが、グリーンアリーナの規模感でも1万人のファンが動けば経済効果はかなり生まれると思います。近年は所謂「推し活」の熱量がとんでもないです。これは当分冷めることはないと思います。1つの市場にもなっていると感じています。そんな中で都市として目立っている広島が推し活の部分を補えていないというのは大変痛いと感じています。(ライブなどに限らず、限定ショップの存在など…)「広島飛ばし」という言葉が昨年SNSにてトレンド入りしたほどです。上記の理由よりコンサートをもっとアーティストが気軽に行えるようになり、推し活によって広島が活気が溢れて欲しいなと心から思います。 ○グリーンアリーナでコンサートができる日数を他県の同様な施設と同じレベルに引き上げをしていたきたいです。香川県や、長崎県等地方でコンサートができるアリーナやスタジアム新設しているのに、広島はコンサート鎖国状態。今の推し活の経済効果は凄まじいもので、コンサート会場の周辺のみならず、もしタレントが撮影で郊外にいけばそちらまで行き渡ります。それこそ、芸備線等利用維持が難しい路線を使うチャンスでもあります。	
--	--

平日の活用	○平日は比較的空きがあり、現状では稼働率が60%前後にとどまる日も見られます。こうした平日の活用を制限対象から外し、または優先的に内定できる仕組みを導入することで、稼働率を80%以上に引き上げることが可能だと考えます。全国的にも、さいたまスーパーアリーナや横浜アリーナなどの大規模施設では、平日のコンサート誘致によって年間利用率を高め、地域経済への波及効果を拡大しています。特にさいたまスーパーアリーナでは、平日公演1回あたり約2億円の経済効果があると試算されており、宿泊業・飲食業・交通機関など広域にわたって収益向上に寄与しています。広島においても同様の取り組みを行えば、県外からの来訪者増加が見込まれ、観光需要の平準化、混雑緩和、地域サービス業の安定経営など、多方面でのメリットが期待できます。また、文化イベントの開催はスポーツ観戦と同様に人々の交流や地域の魅力向上につながります。特に平日のコンサートは観光の閑散期に活気をもたらし、広島の都市ブランド向上にも貢献するでしょう。スポーツ利用と文化利用の両立を図るために、週末はスポーツ、平日は文化イベントといった「使い分け方針」を明確化することを提案します。 こうすることで、双方の利用者にとってメリットが大きくなり、広島グリーンアリーナをより多くの県民に愛される施設として発展させられると考えます。以上の理由から、平日開催のコンサートや文化イベントの積極的な誘致と支援を強く望みます。広島グリーンアリーナがスポーツと文化の共存モデルとして全国に誇れる施設となることを期待しています。 ○以前からイベントの開催が広島を避けている何故なんだろうと思ってました。まさかグリーンアリーナが利用困難だったとは色々なイベントが開催されない事で広島が白い目で見られてたのが残念です。平日の夕方からはほとんど利用されてないのではもっと開放するべきだと思います。もっと広島に人を集めるべきだと。若年層が広島を離れる原因の一つではないでしょうか。私は昔の県立体育館でのコンサートが懐かしいです。 ○平日もアーティストのコンサートなどもっとイベントで活躍してほしい。まず利用制限がある意味がわからない。街の活性化にもつながる。	コンサート等における有料興行制限の利用調整会議での柔軟な運用や、現在も、平日に区分利用とならざるを得ない日について、コンサート等有料興行を実施する余地はあると考えており、平日は制限日数に含めないこととし積極的に利用していただくよう利用調整に係る運用方針の見直しを行うものです。
-------	--	---

イ コンサートの土日開催について

意見の内容	県の考え方・対応方針
○パブリックコメント、初めて記入させていただきます。利用緩和、大いに賛成です！欲を言えば土日祝も利用制限の緩和をしてほしい所ではありますが、、少数の反対意見はあると思いますが、広島県の活気を高める為にも是非とも進めていって欲しいです！ ○グリーンアリーナのコンサート使用の制限を平日だけでなく土日も緩和させるべきです！ ○平日の使用を緩和と聞いているが土日祝の使用を増やしてライブやコンサートの開催の機会を増やしてほしい。広島もしくは中国地方に縁のある人のライブを積極的に行って欲しい。 ○スポーツ施設なので“スポーツ優先”で利用されるのは理解出来ませんが、ライブ等で利用出来るのが“10%まで！”という『根拠』が何を持って決めた数値なのか？不明なので、不満が出てることをまず理解頂きたい。そもそも、その“10%”の話ですら、昨今の話題で知りましたしね…。そんな制限があったなんて…。だから、福岡や大阪にライブを見に行ったりしています。福岡ですら、ほぼほぼ毎週、誰かしらのライブが開催されています。経済効果は凄いと思います。まあ、福岡には“箱”がたくさんあるのも大きいと思いますが…。こういった事は些細なことかも知れませんが、若い人達の流出につながっている要因の一つでもあります。広島には、スポーツ面に関しては野球はもちろん、サッカーもバスケットもバレー等プロリーグのチームはたくさんあります。これは、一地方で考えると、素晴らしいことですよ。スポーツ面は充実していますが、ライブ等の文化面は、札幌広島の中では劣っているのが、住んでいて非常に残念です…。(関係ないですが、映画も福岡に比べて上映される本数が少ない)ライブの集客力はスゴイものがあります。ライブの集客力はスゴイものがあります。経済効果も良い影響を与えることでしょう。広島の宣伝にもなります。是非とも、この「10%」を平日だけ解除でなく、土日祝もせめて「30~50%」まで、広げて頂きたいです。 ○グリアリの土日規制も緩和すべきだと思う広島県の喫緊の課題は人口流出。特に20代の若者の流出の軽減やUターン促進が急務。その1つとしてエンタメ系コンテンツの充実化は必要不可欠であり、そのためのハコの確保としてグリアリの存在は大きい。	土日については、既に年間を通じてニーズがあり、すべての利用希望に添える状況にありませんが、平日については、土日ほど利用ニーズがないため、制限日数には含めず、積極的に利用していただくよう考えております。 <u>また、意見交換会において、K-POPアーティスト、STARTO ENTERTAINMENT 所属のアーティストは、平日開催でも動員を見込むことができるとの意見をいただいております、平日のコンサート等有料興行を、制限に含めない整理としたところです。</u> <u>なお、土日については、スポーツ大会等で利用のない日につきましては、利用調整会議での柔軟な運用をまいります。その結果、10%を超えることもあり得るものと考えております。</u>

○ほかの都市に比べ県の施設とはいえあまりにライブの数が少なくて経済損失がすさまじいと思います。自分が住んでいる県に全然好きなアーティストが来なければ住んでいる県に思い入れがなくなります。岡山県や香川県にもアリーナができています。新しいアリーナができるまでは少なくとも土日の利用制限の緩和も考えるべきだと思います。渋っている間にほかの県が誘致に成功して広島飛ばしが加速する危険があります。県外から来るファンによる周辺施設への経済効果も相当数あると思います。

○有料興行の制限撤廃が平日のみとのことですが現状の有料興行の開催日は殆どが土日に集中しています。有料興行の利用拡大であれば平日を現在の制限(10%)のままにして土日の制限を撤廃してはどうでしょうか。土日の有料興行のうちドラゴンフライズのホーム戦が約30試合、(勝手に含みますが)広島サンダーズのホーム戦が約20試合、年間土日が104日あるので残り54日です。現状のアーティストによるライブがほとんど2DAYSであることを考えると単純に27組のアーティストが有料興行可能になります(月に2組のアーティストが興行可能)これだけでも所謂「広島飛ばし」の対策としてインパクトがあると思われます。キャパシティはまったく違いますが東京ドームでの年間ライブ数が60日とされているので頻度的に遜色ないと思われます。

○人気アーティストのコンサートは、たいてい土日開催なので、コンサートの開催について平日緩和しても意味がないと思う。試行的に数年間コンサート開催について緩和するなどして、経済効果等を測るなどの取組が必要。「広島飛ばし」というワードが世間を賑わせていることから、スポーツ観戦以外の娯楽を求めている人が多いことがわかる。スポーツもその他についても、楽しむことができる広島県になってほしい。今はスポーツに寄りすぎている印象。

○個人的に他県開催のイベントに通うことが多いが、コンサートなど広島市内で唯一大きな会場と言えるのに使用制限による機会損失は大きいと感じる。平日の利用が増えたとしても、ライブなどで金曜日のみの1dayのイベントは基本的に無く、あったとしても収益観点から開催されるものは限定されるのではないだろうか。ゲートパークなど新たな施設も増えてきているが、広島は不便さこそないもののほか大都市にはある利便性やプラスαとなる魅力が薄く若い人の県外転出の要因になっているのではと思う。

○広島グリーンアリーナにおける有料興行のニーズは県内外問わずかなり高まっている状況である。その中で、有料興行の10%制限を平日のみ適用する案が示されているが、その条件で今の課題が解決されるとは思わない。アーティストの公演についても、他県から客を呼び込み、地元の経済を支える意味でも土日についても10%制限を緩和することで、新アリーナ建設の議論も進めつつ、今のグリーンアリーナに係る有効活用になるはずである。広島は、街の規模的にも需要があるのに、あまりにも地元の声を聞きすぎていて、目に余る。もう少し他方の意見も取り入れて、事を進めるべきである。

○昨今の人口流出に結果的に貢献したものです。そのうち広島帰りだと思ってますが、働き口の幅、企業誘致などの課題があるとおもいますが、音楽イベントにおいて、広島飛ばしが当たり前となっております。平日だけ緩和とか来ましたが、経済効果が見られるのは土日が中心です。

○グリーンアリーナの運営について平日のコンサート利用制限は解除されたが休日の利用制限は現状維持のままである。有名アーティストのコンサートでは県内はもちろん近隣の県や遠征の人達も来ることが多く、また平日では夕方から夜にかけてのコンサートが多くなり帰宅ラッシュと重なり公共交通機関の混雑が悪化する可能性もある。また前述した遠征の人達は事前にかけて現地周辺に宿泊することも多く平日に開催するとなるとそういったことをするのが難しくなるため是非休日の利用制限もドラゴンフライズの試合がない夏シーズンでも良いので緩和して頂きたい。

(2) スポーツ関係

ア スポーツの優先利用について

意見の内容	県の考え方・対応方針
○スポーツをする県民にとってとても大切な場所だと思っています。夏の暑さも過酷になり、今後空調のある屋内施設の存在は、大会や学校の運動イベントにおいて特に重要になってくると思います。 ○バスケット界の体制が変わる時に動員数・売上等で無意味に2部に落とされた過去があるので、今回の基準変更で即座にグリーンアリーナをホーム本拠地として使用可能な判断をいただいた事は、ドラゴンフライズブースターとしては感謝します。公共施設なので学生の大会などを優先させるということも理解できます。 ○今回の騒動は横浜市の「ぴあアリーナ」や「Kアリーナ」のように広島県の芸能側・興行主側が、受け皿となる施設を準備する訳でもなくドラフラ躍進による一時的な利用の制限から、仮称ドラフラアリーナ完成までの間の混雑を利用した興行主側のスポーツ施設としての運営の介入と見えます。 ○県立体育館＝スポーツをするための施設、でありライブ会場ではないこと。県がスポーツ利用を制限するのなら条例の名称を「県立アリーナ」とするなど「総合『体育館』」という看板は下ろした方がいいと思いました。 ○期間限定での緩和には賛成。ただし、長期的な視点からは反対。また、ライブ需要が県外6割と書いてあったが、本県民の需要がないなら緩和の必要性は乏しいのでは？あくまで県営アリーナだけに。	大アリーナである広島グリーンアリーナは、最大収容人数が約1万人の中四国地方最大規模のアリーナ施設を生かした地域の賑わいの拠点としての機能をもつことについても踏まえる必要があると考えておりますが、広島県立総合体育館は、大規模スポーツ大会の開催や国際交流の促進、県民スポーツ活動の拠点とすることを目的に設置した施設です。 意見交換会においても、 ・体育施設であることから有料興行の実施に一定の制限をかける必要はある ・本県の高校生は、スポーツの聖地である。広島グリーンアリーナでの決勝戦を目指して、取り組んでいる。本県の高校生が目標にしている会場である。 と、意見をいただいたところです。 <u>今回の運用方針(案)におきましては、コンサート等有料興行制限は、原則、10%(開館日数に占める広島グリーンアリーナの有料興行日数の割合)を維持することとし、スポーツ利用のない平日についてコンサート等有料興行に開放することとしています。</u> <u>あわせて、これまでの早期内定基準を廃止し、これまで早期内定の対象とならなかったスポーツ大会についても、ジュニア選手たちの夢や希望につながる聖地性の高い行事について、早期内定のプロセスの見直しを行います。</u>

イ 学校体育祭について

意見の内容	県の考え方・対応方針
○学校体育祭での利用促進は良い案だと感じる。利用促進にあたり、教育委員会事務局が各学校に対して予算措置を確実にを行うなど東部や北部地区の学校も利用しやすいようにすべきである。 ○熱中症対策として広島市中区付近の小中高の体育祭をグリーンアリーナでするのはどうでしょうか。母校である修道高校は4年前からグリーンアリーナを使用している為、他の学校でもできないだろうか。 ○最近では気候変化が激しく秋や春でも土砂降りや暑	<u>学校体育祭の開催は、平日の専用利用方法として、近年の新たなトレンドであり、積極的に誘致したいと考えています。</u> 一方、年度の上半期の平日は予約が重複し、利用できない場合もあるため、他のシーズンの誘致に努めてまいります。

い日が多い。グリーンアリーナに空きがあるなら市や県の学校に関しては優先的に体育祭など平日にでも割り当てる、加えて支援欲しい。	
--	--

(3) スポーツとコンサート等有料興行の両立

意見の内容	県の考え方・対応方針
○ライブ会場としてもスポーツ観戦でもできる数少ない施設だと思います。スポーツ施設をメインにすると平日、使われない日も出てくると思うし、かと言ってライブの数を増やすと設営や撤去と日にちに取られるかなとも思います。難しいとは思いますが、いろんなイベントもライブも出来るような施設になるといいと思います。 ○広島グリーンアリーナの有効活用について、平日を中心としたコンサートや文化イベント開催の促進を提案いたします。週末は広島ドラゴンフライズの試合や各種スポーツ大会が多く行われており、スポーツ利用を優先することは重要であり、私もその考えに賛同します。	<u>大規模スポーツ大会の開催や国際交流の促進、県民スポーツ活動の拠点としての機能は堅持しつつ、にぎわい創出という視点ももって、運営してまいりたいと考えております。</u>

(4) 施設について

ア コン서트等有料興行関係

意見の内容	県の考え方・対応方針
○ライブできる可能性がある企業も広島を飛ばし、ほかの県に行ってしまう事が多く、学生の一県民としては辛い思いをしています。広島飛ばしのせいで広島から出て行きたい。大阪や博多などの西日本でもまだライブが期待できる場所に引っ越したいと言う同級生は多く、かく言う自分も同じような事を考えています。ライブツアーで広島だけ来ず泣く泣く諦めることも沢山あります。グリーンアリーナさえどうにかなれば、広島は最高なのだと思います。ルールを緩和するか、新しく施設を作るかして欲しいなと強く思います。 ○コンサートなどが施設の不足、施設の小ささなどで広島飛ばしとなっている現況はとてももったいないとも思います。あとは本拠地は他地区だとしても、やはり市内中心部の施設の集客力や、平日開催時の利便さのためにもグリーンアリーナは重要な施設なので、使いたい時に使える施設であってほしい。とは言え限りもあるので同等の施設の増設や既存施設の改修なども見据えて動いてほしい。圧倒的に施設不足。 ○将来性も踏まえ是非グリーンアリーナとは違うコンサート機能に特化した大型施設を検討していただ	<u>他施設の利用状況やニーズも踏まえながら、効率的な運営に努めてまいります。</u>

きたい。

○他県でスポーツ利用とコンサート利用、その他を両立させている所は多くあるのでは。スポーツにこだわりがあるのはわかるが、時代の変化や若者の流出事情など、古い価値観に囚われたままでは解決できない。開催できるアリーナがここしかないのなら、アリーナレベルの施設を増やせないのか。スポーツの観点でも、選択肢が増えるのはいい事だと考える。さらにコンサートも充実するならば、県民にとってプラスしかない。住みたいと思える住んでいてよかったと思える広島を実現して欲しい。

○そもそもグリーンアリーナありきで考えていては、対処療法になりかねないため、どちらか提案します。これまで通りグリーンアリーナをスポーツ優先とする代わりに新たに大規模イベント、ライブ会場を建設するか、グリーンアリーナをライブ施設とする代わりに、代替スポーツ施設を建設するかです。個人的には前者ですが。予算もあると思うんで後者で折衷案です。

○ライブ需要については疑問が残る。真に需要があるならば、野外公演の開催などももっと行われているはずである。実際には「アリーナ規模」よりも、アクセスのいい2,000～3,000人規模の音響のいいホールが本県の需要に合致していると考え。キャパシティが足りないと多くが述べているが需要が足りてないだけでは？グリーンアリーナガラガラと検索すると結構ヒットする。公演できても埋めれないアーティストも多いのでは？埋まらないと次は来ない。全国的にフェスが盛んですが、本県では開催実績が乏しく、県北でも撤退した経緯もある。夢番地などが回答しているが、民間企業であり需要、収益が見込めるなら自社でアリーナ整備する案件では？年間現状より60億以上本当に見込めるなら自社で整備可能なのでは？本アリーナ利用緩和でなくともいいと考える。また土日以外の集客できるとは到底思えない。

○ライブ会場やコンサート会場に活用してほしい。大アリーナ以外の設備を取り壊して、大アリーナの2-3倍のキャパがある新アリーナを現在地に建設することで、「広島飛ばし」も防げるし、市内の活気も戻る気がする。市民向けのアリーナを別のところに設置する必要はありそうだけど。

○出来れば新しいアリーナ建設（スポーツ関連のイベ

ントも可能)も視野に入れつつグリーンアリーナでのコンサートやライブを増やすようにしてほしい。 ○グリーンアリーナはスポーツ振興の為の施設とは思いますが、コンサートや催し物や展示会等の為の大規模な施設がないのは大きな機会の損失だと思っています。また展示会・集会の利用件数の減少も、利用したくても制約や予約状況から利用できなくて諦めている現状もあるのではないかと思います。できることならグリーンアリーナでの他の用途による使用の緩和と、新しい代替施設の建設を望みます。新しく建設する際には、まず一番に『スポーツ以外の利用優先』（グリーンアリーナをスポーツ優先とするなら必須だと思います）、アクセスの便利さ（広島空港のみ・車のアクセスのみは論外、公共交通機関の利用も想定してください）、展示会にも利用できる造りという点を大切にしたい施設にしていきたいと思います。	
---	--

イ スポーツ施設

意見の内容	県の考え方・対応方針
○新しいスポーツ施設を計画し、グリーンアリーナがもう少し興行を呼べるようになれば、スポーツ資源的な意味でも、娯楽的な意味でも、将来を担う子どもたちが広島に残りたいと思ってくれるのではないだろうかと考えます。	<u>スポーツ施設の整備については、競技人口や利用者の将来的なニーズ、周辺施設の状況などを踏まえ、関係市町、競技団体などとの十分な議論を行う必要があると考えております。</u>

ウ 広島グリーンアリーナの改修

意見の内容	県の考え方・対応方針
○広島市に足りないのは、大規模なコンサートを開催できる施設なので、グリーンアリーナは建て直しの時期までこれに特化して運用するべき。1万人収容できる施設であることから、一万人規模のコンサートを最優先にしてスケジュールを確保するべき。これより小規模は、コンサートが開催されない時期に限って受け入れる。いわゆる「広島飛ばし」を避ける意味で最重要課題であり、グリーンアリーナは早期に建て直し、三万人規模の施設にするべきではあるが、現状では上記の対応が望ましい。 ○設備刷新等してグリーンアリーナを多くの人が使えるようにしてほしい。イベントをやりやすいようにしてほしい。グリーンアリーナだけで足りないなら、増設も検討してほしい、そのためにしっかり説明してもらえれば、肯定的に向き合いたい。	<u>広島県立総合体育館を含む既存の県立スポーツ施設については、今後も利用者にスポーツを安全かつ継続的に楽しんでもらうため、スポーツインフラを適切に管理・改修していくことが必要です。改修については、引き続き、必要なものから、順次、計画的に行ってまいります。</u>

エ 新アリーナ

意見の内容	県の考え方・対応方針
○ドラゴンフライズが進めている新アリーナ建設については県から申し入れをしてグリーンアリーナの利用拡大による集約および費用削減に繋がられないでしょうか。アリーナの新規建設すると恐らく 200 億ですがグリーンアリーナの席改修・音響設備改修・トイレ改修等々・・・現状古くなって問題とされている点を改善すれば 40～60 億で可能と思われます。現状のミナモアによる駅周辺の人の集中に新アリーナの建設が重なると所謂八丁堀・紙屋町付近の商業が疲弊する可能性があります。またドラゴンズフライズ自体もチーム強化に予算を集約できます。都市設計の一環としてグリーンアリーナのブラッシュアップおよびアリーナの集約を提言します。 ○緩和後の駅裏アリーナ建設に関する懸念 駅裏に新アリーナを建設する場合、県と市がどのように考え費用を負担する意向があるかが第一の前提条件と考える。個人的にはあの立地に建設そのものに反対。隣接地に県の基幹病院を建設予定であり、緊急時の混雑や安全性に懸念がある。新幹線利用によるアクセスは便利である反面、来場者が「とんぼ返り」することで地元への経済効果は乏しい可能性が高い。アクセス重視の広域集客は、かえって地元住民の気軽な利用や鑑賞機会を圧迫する恐れがある。 建設費用と民間活力について 建設費は高騰しており、1 万人規模のアリーナはサッカースタジアム以上の費用がかかると考えられる。バスケットボールの親会社や音楽関係者の一覧を見ても、民間でそのような規模を担える企業体力は乏しい。仮に十分な需要と資金力があるならば、既に他の場所で関係者が個々で建設していたはず。	<u>新たな施設については民主導で検討されており、検討の動向を注視してまいります。</u>

(5) その他

意見の内容	県の考え方・対応方針
○フリーマーケットが広島で不足していると考えます（大井競馬場のような大型の定期フリマ）広島は全国的に見ても古着屋のレベルも高い事が知られていますので親和性もあると思います。合わせて若者の広島離れを鑑みても良い施策と考えます。 ○元広島県民の愛知県民、ゆるキャラ好きです。呉キャラ祭を超える大規模なゆるキャラ祭を開催して欲しいです。まずは県内の市町のゆるキャラを集めて、そしてふなっしーやくまモン等の有名なゆるキャラを集めてステージや屋台をやれば、全国からゆるキャラファンが集まると思います。 ○とにかく娯楽が少ない広島だから全国からこのイベントに来たい！と思えるようなイベントを続々と開催してほしい。コミケ、ライブ、大規模物産展など。アクセスの良さを活かして集客をがんばってほしいです ○音楽ライブ以外にもスケートやミュージカル、たくさんの作品と触れ合う機会が欲しいです。 ○広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）は、これまで国内外のスポーツ大会やコンサートなど、広島の顔として数多くの実績を重ねてきました。一方で、県民が日常的に利用し、地域の未来づくりにつながる仕組みとしては十分に活かされていない側面もあります。そこで私は、グリーンアリーナを「子どもたちが社会と出会う学びの拠点」として活用するために、キャリア教育イベント「キッズダム」の常設導入を提案いたします。私は16年間、保育園と子育て応援団体を運営し、約4,000組の親子と関わってきました。その経験から、子どもたちにとって本当に必要なのは「将来につながるリアルな体験」であると確信しています。2023年からは「キッズダムひろしま」を企画・運営し、小学生を対象にしたお仕事体験イベントを継続して実施しています。これまでにマツダ、広島銀行、広島ホームテレビ、警察、消防など30社を超える企業・団体に参加いただき、延べ数千人の子どもたちが社会の最前線を体感しました。保護者も「お客様役」「スタッフ役」として参加し、親子が共に学ぶ場としても高い評価を得ています。この取り組みは広島県・広島市・広島市教育委員会の後援を受け、地域を挙げて子どもたちを支える仕組みとなりつつあります。企業にとっては未来の人材に出会う機会となり、CSRや	<u>広島グリーンアリーナは、国際大会などに使用される高規格、高次系スポーツ施設、広域的で大規模なスポーツ大会を行うための、広域系スポーツ施設として設置整備されたものであり、大会誘致によるスポーツ推進と、大規模な施設を生かした地域の賑わいの拠点としての利用を念頭においています。</u> <u>現状においても、スポーツ以外にも、各種イベント等が開催されており、この考え方に合致するものであれば、コンサート等に限定するものではありません。</u> なお、利用内容については、各利用（主催）団体が決めるものであることを申し添えます。 また、広島ドラゴンフライズの広島県立総合体育館の利用については、令和8年度から5年程度を目安に、ホームアリーナとして利用することとなっています。

採用活動の原点回帰にもつながります。また「完全無料」で提供することで、経済的格差に左右されず、すべての子どもが平等に社会体験に触れられることも大きな特徴です。グリーンアリーナは市中心部にあり、公共交通の利便性が高く、常設型の社会教育拠点に最適です。単発イベントではなく常設化することで、年間を通じて学校単位・地域単位での利用が可能となり、修学旅行や教育観光の受け入れにも広がります。広島ならではの「社会と出会う体験」として全国に発信できれば、地域の教育資源・観光資源として新しい価値を生み出せます。少子化や若者の県外流出が課題となる今こそ、子どもたちが早い段階で「地元企業の魅力」「広島で働く意味」を実感できる場が必要です。さらに保護者や企業も共に学ぶ仕組みとすることで、大人の意識改革や地域ネットワーク形成にもつながります。これまで築いてきた実績と信頼を基盤に、グリーンアリーナを「未来の社会を体験する学びの拠点」として位置づければ、単なるイベント会場を超えて、広島から全国に誇れる社会教育モデルを発信できます。私は、子どもたちの未来をつくる活動をライフワークとして取り組んでまいりました。これからも広島の子供たちに「本物の体験」を届け、親も企業も共に成長できる場を広げていきたいと考えています。そのためにも、グリーンアリーナを活かしたキッズダム常設化を、ぜひご検討いただきたく存じます。

○もっと、Live やフェス音楽だけでなくイベントを増やして欲しい。例えば、保護犬や保護猫のイベントや車のイベントや今、流行ってる物を扱ったイベントを増やしてもらえたら若い子も転出しなくなるはず。

○グリーンアリーナのコンサートの利用日拡大のみにとどまらず、ピースウィングでも LIVE 開催ができるようになどどうぞご検討お願いします。

○グリーンアリーナの代替えとなる会場の広島サンプラザがあまり使われておらず勿体ないと思っております。バレーやバスケの試合もグリーンアリーナというのは広島サンプラザの場所が随分郊外だったり不便な場所だと思いこんでいる市民が多く、避けられているからではと思います。広島駅から JR でたった 15 分という立地の良さは官民ともにもっとアピールした方がいいのではと思います。広島発のものは大事ですが、流行り物に気軽に触れられるのは若者獲得には大事だと思います。あちらの要望、こちらの要望、両立させるのは難しいですが、なるべく良い方向に話が進むことを願っております。

○興行の「広島飛ばし」は、札幌・仙台・広島の中でも周辺都市が弱い＝集客力が弱い広島独特の立地の問題でライブ会場の無さは、論点のすり替えに映ります。(札幌市は約 200 万人、仙台市は約 100 万人でも新幹線で実質首都圏、福岡市は約 170 万人で北九州市が隣接) 1 万人の県立体育館で 1 公演というコストダウンを追求した結果 120 万都市というファンの多さの可能性がありながら、公演できない事態となっているように見えます。既存の広島サンプラザ (5000 人) で特別な 2 公演 (計 1 万人動員) など工夫をすればファンに機会を提供できた訳で、芸能側の過度な要求に映ります。

○対応としては、平日とはいえ真つ当なスポーツ利用を排除または著しい制限を課すほど興行の需要が高いなら興行主側が新しいライブ会場を作れると思います。混雑の議論の中でサッカースタジアムを挙げているなら、宇品に広い土地があるのは認識しているでしょう。「ぴあアリーナ」は定期借地権による仮設建築物のようで、恒久施設としなくてもかつて有楽町にあった「宝塚 1000days 劇場」(こちらは収容人数 2000 人だったらしい) のような仮設劇場を「みなと公園」に建てることで平日に体育館を利用したいアマチュアスポーツを封殺する心配はなくなると思います。かつての遺恨、港湾物流事業者からの反発は、当時のサッカースタジアムの計画は 3 万人の想定であり今回のライブ会場は最大その 3 分の 1 と道路の混雑への影響は恐らく小さいこと仮設・期間限定利用ということで、矛を収めてもらうのかなあ。サッカー場よりもお客は少ないので、路面電車やバスで移動の需要は捌けるでしょう。サーカスの仮設テント会場も設置されたことがあり、交通渋滞の記録は警察に残っているのではないのでしょうか。

○サッカー移転後の広域公園やマリホなどの未利用地を、市と共同で、ライブ利用可能な施設に改修、整備する方が現実的ではないか。市が商工センターにサンプラザ建て替えも考えている。

転出超過との関連について

「ライブ緩和によって転出超過対策」との見方には疑問がある。転出抑制には、まず魅力的な進学先や雇用先の整備が不可欠。転出されない産業シフトがいるのでは？福岡などは地の利の恩恵が高いが it やゲーム産業など若者視点で投資や誘致してきた経緯も今効いてきているのでは？仮に結果が出ていなくても本県は何か若者を引き付けるような産業に投資、誘致してきたらどうか？本県は平和と濁してただけに感じるが。近年はファンが全国・海外まで移動する時代

であり、県内で公演が1本増えた程度で定着にはつながらないと考える。10代の子供たちにとって、憧れのアーティストをローカルメディアで見ることができるということはインパクトがあるし、盛り上がる。とあるが、より身近に感じたいが故転出が加速されるだけでは？

「広島飛ばし」との言説について

「広島飛ばし」と言われるのは、単に需要が不足しているだけではないか。主要なアーティストは既に来広しており、来ないのはドーム規模を必要とするか、あるいはkpopなどの一部マニア層向けの公演に限られている。このようなアーティストは、そもそも本県公演自体を想定していないのでは？東京のみ、大阪までのようなアーティストも多い。あと個人的な意見だが夢番地などの誘致が弱いのでは？Zeppがないため外されてる案件も多いと思うが。

今後の取り組みについて

来ない、飛ばされると嘆くのではなく、企画・誘致を行う主体の育成が重要だと考える。さらに会場を埋める努力が一番いるのでは？大学の学祭でも学生が直接交渉している事例があるように、本県でも企画力を持つ人材や組織を育てることが先決である。

短期的な緩和には賛成しますが、仮に駅裏アリーナ建設時にはどうするのかなど長期的視点が欠落している。需要や費用対効果を冷静に見極め、身の丈に合った緩和、施設整備と、地元で主体的に企画・誘致できる人材育成に重点を置くべきと考える。あくまで県営アリーナである。本当に需要があり金儲けしたいならバスケなりプロモータなりが負担して別に建設すればいい。仮に駅裏アリーナができれば、そちらにバスケやライブは移る。バスケ、ライブともに土日開催だと思う。共用できるのかは疑わしいが、、

○本来の目的で「あった」県民のための体育振興ですがグリーンアリーナが建設されるまでは各小中高の体育館等で問題なく実施できていました。あと一般市民の方の使用ですが・・・市内の小中高の体育館について一般市民の方もネット予約等で利用できる仕組み作りをしてはどうでしょうか。具体的にはエディオンピースウイング広島の隣のHIROPAの遊具等はLINEで予約および保管場所の鍵開閉も可能になっています。この仕組みは既にあってほとんど費用も掛からないので仕組みと運用ルールの作成して広島市と協力して試験導入してみてもどうでしょうか。借りたい時間（貸せる時間）・使用可能な競技設備・鍵の貸出返却場所（もしくは電子施錠に変更）等々・・・基本的には土日の未使用時のみという制限といいと思われま

す。平日であれば現状と同様にグリーンアリーナが使用できるので。

○ライブビューイング

○この度は、広島グリーンアリーナの運用方針（案）について意見募集の機会をいただき、誠にありがとうございます。まず、率直に申し上げますが、今回の運用方針（案）は、県民の貴重な税金を投じて維持される公共施設の活用方法として、あまりにも抽象的であり、議論の出発点として不十分であると言わざるを得ません。「有効利用」という言葉が使われていますが、具体的にどのような指標をもって「有効」と判断するのか、その定義が明確ではありません。利用率なのか、収益性なのか、それとも県民の幸福度なのか。指標が曖昧なままでは、議論も評価もできません。現状の方針案は、旧態依然とした運営の延長線上にあるように見受けられ、これでは県民の利益を最大化するという目的を達成できるとは思えません。例えば、「平日の日中など、利用が少ない時間帯」の活用について言及がありますが、そもそもなぜ利用が少ないのか、その原因を深く分析し、対策を講じることが先決ではないでしょうか。単に「サークル活動や交流の場」として利用を促すだけでは、根本的な課題解決には至りません。本当に求められているのは、既存の枠組みにとらわれない、大胆な発想と、その効果を数値で検証する仕組みです。また、「若い世代のアーティストやクリエイター」という言葉も抽象的です。彼らが何を求め、どのような支援があればグリーンアリーナを積極的に利用するようになるのか、具体的な調査や分析は行われているのでしょうか。もし行われていないのであれば、それは行政の怠慢と言わざるを得ません。パブリックコメントを募集するというのは、県民の意見を真摯に受け止め、政策に反映させるためのプロセスのはずです。しかし、この方針案では、意見を募集する以前に、行政側が論点を整理し、具体的なビジョンを提示する責任を十分に果たしているとは言えません。今回の意見募集が、単なるアリバイ作りに終わることなく、県民の貴重な意見を真に活かすためには、まず行政側が、公共施設のあるべき姿、そしてそれを実現するための具体的な戦略を、論理的かつ明確に提示すべきです。この方針案は、その最初のステップとして、再考が必要であると考えます。

○祖父母が公共機関に乗って幼稚園の孫などを連れて遊びに行ける屋内の子供が遊べる場所が少ないので子供が遊べる施設を作って欲しいです。

今年の夏は暑すぎて公園にもつれていけないですし、科学館などは月曜日休みのため、日にちによっては遊ばせれる場所がなくて悩んでいます。 ○イベント開催時の周辺の店舗や公共交通機関等現場に丸投げでなく、時間潰しや開催前後の電停や停留所など溢れている人で現地の人が迷惑を被っている事を目で視てください。観光地として名乗るのならば、車内に溢れるスーツケース、現地人が座れないことも含めワンストップだけでなく大きな目も持っていたきたいです。 ○バスケットでドラゴンフライズは、今、サンプラザを拠点にされていますが、それをグリーンアリーナにして、そこでの試合を増やせば集客になると思います。広島のプロスポーツチーム（カープ・サンフレッチェ・ドラゴンフライズ）が市内中心部に集まれば、広島市も活性化につながると思います。	
---	--